

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：藝術

科目：音樂 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：長倉 千紘

使用教科書：（ ON! 音楽の友社

教科 芸術

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 音樂 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・技能を身に付ける。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	楽譜の仕組み、発声の基本	・五線譜の読み方、楽典の基本を理解し、譜読みができるようにする。 ・呼吸、発音、発声の仕組みを理解して自らの身体と関わらせて基本を身に付ける。	○				【知識及び技能】 楽譜の読み方や音楽理論を譜読みと結び付けて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 知識・技能を結び付けて思考し、自らの身体感覚を感じ取りながら発声している。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の学習内容を自らの思考や身体感覚と結び付けて主体的に取り組んでいる。		○	○	○	2
	校歌	・五線譜の読み方、楽典の基本を理解し、譜読みする。 ・呼吸、発音、発声の仕組みを理解して歌唱する。 ・ハーモニーを感じ取り、曲想にふさわしい歌唱表現に取り組む。	○		○		【知識及び技能】 楽譜の読み方や音楽理論を譜読みと結び付けて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 知識・技能を結び付けて思考し、自らの身体感覚を感じ取りながら発声している。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の学習内容を自らの思考や身体感覚と結び付けて主体的に取り組んでいる。		○	○	○	2
	言葉と音楽 「この道」「砂山」	・詩の読解、言葉の抑揚と旋律との関係を読み解く。 ・言葉のリズム、フレーズを意識しながら朗読し、作曲者の意図を楽譜から読み取る。 ・楽曲の違いを感じ取り、音楽の要素を理解して歌唱する。	○		○		【知識及び技能】 楽譜に記された旋律の変化や表現記号や曲想記号を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜から読み取れる音楽表現の豊かさを感じ取り、自分の思考を表現している。		○	○		4
	「Caro mio ben」	・イタリア歌曲の感情表現の豊かさを楽譜から読み取り、理解している。 ・発音や発声に留意し、楽曲にふさわしい歌唱表現に取り組む。 ・美しさと魅力を感じ取りながら歌唱する。	○		○		【知識及び技能】 楽譜と歌詞の関係を理解し、楽曲の音楽の要素を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った音楽の要素と自らの身体感覚を感じ取りながら歌唱している。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の学習内容を自らの思考や身体感覚と結び付けて主体的に取り組んでいる。		○	○	○	10
2 学 期	ソルフェージュ 聴音 作曲の基礎	・記譜の仕方を理解し、聴き取った音を書き記す技能を身に付ける。 ・言葉の抑揚と旋律の関係をふまえて、作曲の基礎に取り組む。	○		○	○	【知識及び技能】 記譜の基礎を理解し、音程を書き取れている。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の抑揚や詩など題材の内容を理解して旋律を創作している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌詞やテーマにふさわしい音楽は何かを模索し、主体的に取り組んでいる。		○	○	○	4
	作曲に挑戦しよう	・歌詞の題材を自ら選択し、言葉の意味を理解してふさわしい旋律を考える。 ・記譜した作品を発表し、相互批評する。	○		○	○	【知識及び技能】 メロディーやリズムを理解し、正しく記譜できている。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の抑揚や詩など題材の内容を理解して旋律を創作している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌詞やテーマにふさわしい音楽は何かを模索し、主体的に取り組んでいる。		○	○	○	12
3 学 期	箏 「春の海」 「六段の調べ」 「カントリーロード」	・日本音楽史における箏の位置づけを理解する。 ・「春の海」を鑑賞し、尺八や箏の響き、掛け合いの魅力を感じ取る。 ・箏の構造や基本的奏法を理解し、音色を工夫して演奏する。		○	○	○	【知識及び技能】 日本音楽史の流れや箏の基本的奏法を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や奏法の工夫を感じ取り、情景を意識しながら鑑賞している。 【学びに向かう力、人間性等】 箏の演奏に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。		○	○	○	10
	ミュージカル鑑賞と歌唱 「レ・ミゼラブル」	・物語や登場人物の関係性、テーマに関心を持ち、主体的に鑑賞する。 ・ミュージカルの構造や楽曲の特徴、登場人物の心情を理解しながら歌唱表現を工夫して歌う。	○		○		【知識及び技能】 楽曲の特徴、登場人物の心情の変化を理解し、創意工夫して歌唱できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ミュージカルの構造や物語と楽曲の関わりを理解して、表現の工夫をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 物語やテーマに関心を持ち、主体的に鑑賞し、		○	○	○	10 合 計 54

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 画	デ ザ イ ン	彫 刻						
1 学 期	単元 コラージュ絵画 ○構図や色彩の効果、具体と抽象の組み合わせ、全体のイメージなどを捉え画材の特性を生かして表す ○想像や空想したイメージなどをともに形態や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。 ○心の中の世界を表す創造活動に主体的に取り組む。	○想像したい世界をあらわすことに関心を持ち、主題を生成する。 ○選択した絵画作品1枚からイメージした主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して創作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。	○	○		○	○意図に応じて画材の特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し創造的に表している。 ○想像したイメージから主題を生成し、画材の特性を生かし創造的な表現の構想を練っている。 ○心の中の世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	単元 静物デッサン ○形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージを捉え表す。 ○モチーフの特徴や美しさなどをともに、形や色彩、明暗、質感などの効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。 ○デッサンの基礎に主体的に取り組む。	○身近なものを描くことに関心を持ち、モチーフを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどを大切にして素描をする。 ○モチーフを観察し、形や色、質感表現や奥行、構図などの構想を練る。 ○線の種類や重ね方などを工夫し、デッサン用具の特性を生かして創造する。	○			○	○形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージを捉えることを理解している。 ○モチーフの特徴や美しさなどを観察し、形や色彩、明暗、質感などの効果を考え構想を練っている。 ○見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2 学 期	単元 自然物の模刻 ○形や色彩、質感、量感などの造形の要素の働きを基に、計画性を要する石粉粘土ならではの技法や特性を生かし創造的に表す。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現をする。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	○彫刻の基礎的表現である塑像と彫像の違いを理解する。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現をする。 ○形だけでなく着色もすることで、自然色の美しさや、その構成要素を感じ取る。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。				○	○形や色彩、質感などの性質や石粉粘土による造形の要素の働きを理解している。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現に取り組んでいる。 ○完成作品を鑑賞し合い、作者の意図や工夫を感じ取ろうとしている。	○	○	○	10
	単元 塑像 フィギュア製作 ○形や質感、量感やバランス、動勢などの効果、全体のイメージを捉え、芯材や粘土、メディウムなどの材料の特質を捉えて表す。 ○表したい主題の形態をよく理解した上で構想を練ったり鑑賞したりする。 ○表情や動きを捉えて粘土で表す創造活動に主体的に取り組む。	○主題に応じた芯（骨組み）の材料や大きさについて理解する。 ○作品が自立できるバランスを考えて制作する。 ○彫刻刀や紙やすりで行う細部表現を覚える。 ○メディウムについて知り目的に応じ使い分ける。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。				○	○風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的特徴などをともに全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ○場所や風景を深く観察し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3 学 期	単元 風景画 油彩 ○風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、油絵具の特性を生かして表す。 ○場所や風景のイメージをもとに、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞しあったりする。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組む。	○風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに形や色、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きの表現などを工夫し、油絵具の特性を理解して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	○			○	○風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的特徴などをともに全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ○場所や風景を深く観察し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組もうとしている。				14
											合計
											52

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

单位数：

單位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：吉野哲夫

使用教科書：（書Ⅰ 教育図書Ⅰ702・703

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。書写能力の向上を図り書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の美しさやよさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって書を楽しむ心情を育てるとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	芸 術	1・2	長倉 千紘
科 目 名	音楽Ⅰ	3・4	長倉 千紘
単 位 数	2	5	長倉 千紘
必修選択区分	自由選択	6	長倉 千紘
使用教科書	改訂版 ON! 1（音楽之友社）	7	長倉 千紘
使用副教材		8	長倉 千紘

学 習 の 目 標	1 学 期	発声の基本を習得する。ソルフェージュ実習を通して読譜力・音程感覚を身に着ける。 日本歌曲を学習し、言葉の抑揚と旋律との関係を理解して歌唱する。混声四部合唱に挑戦する。
	2 学 期	詩や和歌などを題材に、作曲に挑戦する。基本的な創作の手法、記譜を理解する。
	3 学 期	箏の実習を通し、日本音楽の基礎を理解する。 ミュージカル鑑賞と楽曲の歌唱を通し、作品の理解を深める。
担当者からの コメント		発声法と読譜力を習得することは、豊かな音楽表現への礎になります。 多くの楽曲の実習及び鑑賞を通して、音楽的感性を養い、幅広い芸術観を身につけましょう。

成 績 評 価	観 点	意欲的・主体的に表現活動に取り組んだか。 音楽の基本的な知識と能力が身についているか。 豊かな音楽表現ができているか。
	方 法	授業中の観察による評価、及び実技試験。

授 業 計 画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学 期	中 間 期	12	斉唱曲の実習・合唱・ソルフェージュ実習	ソルフェージュと様々な 楽曲の実習を並行させて、 基礎音楽力を身に付ける。
		期 末	12	斉唱曲の実習・ソルフェージュ実習・	
	2 学 期	中 間 期	14	楽典の基礎・作曲の実習	1学期の活動を活かし、 表現活動を展開させる。
		期 末	14	楽典の基礎・作曲の実習	
	3 学 期	学 年 末	18	箏の実習 舞台芸術の鑑賞活動	箏の実習は、市民講師 と授業者のT.T.による。

東京都立八王子東高等学校